

2025 クリーンアップ作戦「ゴミ探検」活動報告

～大関からきれいなまちを！小学校の全児童とゴミ探検！～

■ ゴミ探検に向けての出前授業 10月2日(木) 大関小学校



○川はどこを流れているか
確認してみよう

◎流域探し

福井県にはどれだけの川が流れているのだろうか？嶺北地方のすべての川が記されている地図に赤鉛筆で色を塗っていきました。九頭竜川はもちろん竹田川、足羽川など色を塗っていくと、福井県にたくさんの川が流れていることや上流はどこが源なのか、そして、全ての川が海(日本海)につながっていることなどが理解できました。

◎ブルービーズ(川の流れを実演してみよう)

流域探しの後、川が季節によってどのように水量が変化しどこで水がオーバーフロー(浸水)するのか、どこにゴミがたまりやすいのか、などをゴミに見立てた木片を手渡ししながら体験しました。豪雨の時に水があふれることや海にゴミが流れつくことへの理解が深まりました。子どもたちはメッセージを2枚書き、1枚は家族に渡し、1枚は秋の大関えがお朝市で地域の方に見ていただきます。



○嶺北の川に色を塗ってみよう



○川は季節によってどのように流れるのだろうか



○子どもたちからのメッセージを届けます

■ 小学校全児童と地域住民約 170 人でゴミ探検 10月15日(水) 大関小学校・主要道路



今年で第6回目となる「ゴミ探検」。今回は大関小学校の全児童と地域の大人の皆さんなど総勢約 170 人で探検しました。さらに、調査範囲をコミュニティセンター前の県道にも広げました。前日までの雨がうそのように上がり、秋晴れのもと楽しく探検できました。

相変わらず「たばこ」や「プラスチックごみ」が多いです。また、コースによってはレジ袋に入ったままのゴミが4つも発見されましたが、定期的に草刈りが行われている箇所にはゴミが少ないこともわかりました。

今回の探検を通して、これからは、ゴミ削減に向けた具体的なアクションが必要だと感じました。



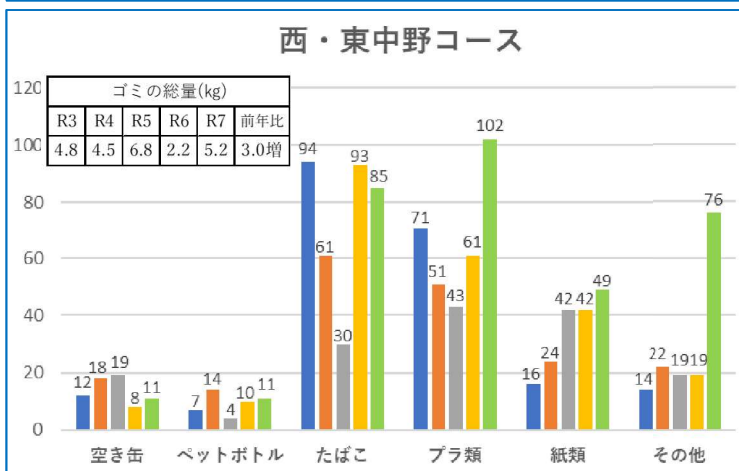
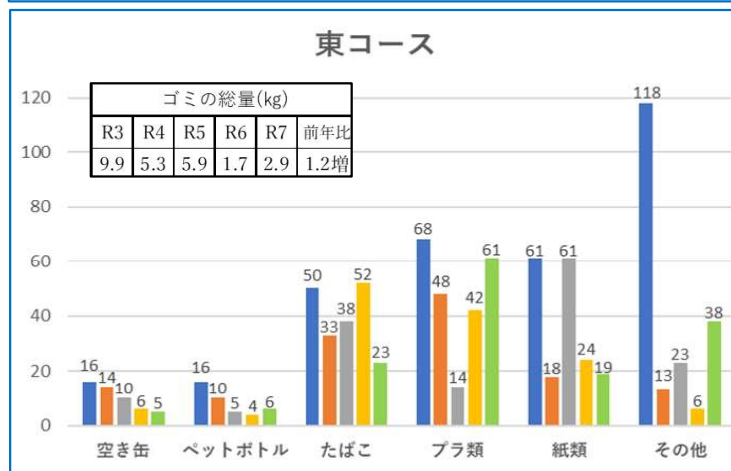
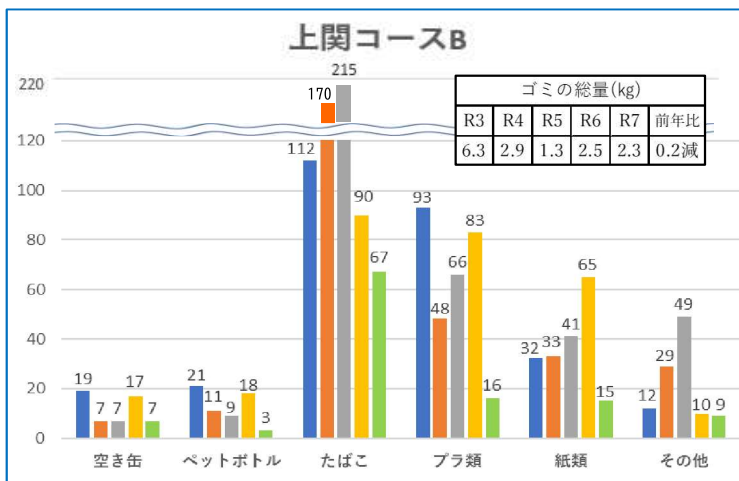
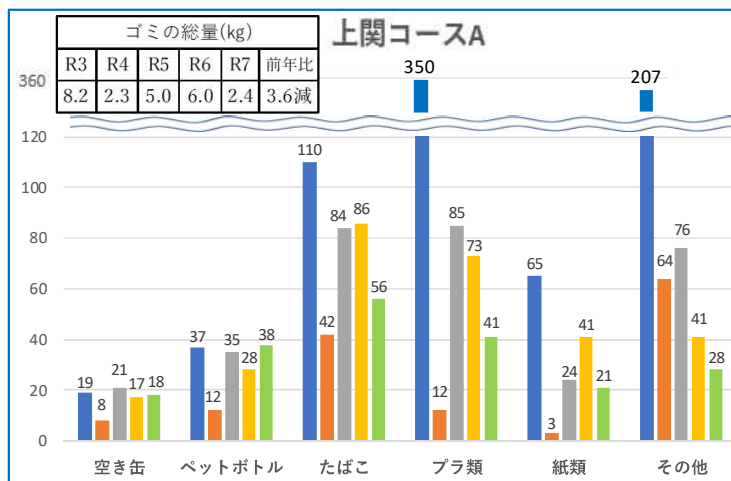
ゴミ探検に参加した子どもたちの感想から

- ・使い切らずに捨てているゴミや飲み切らずに捨ててある缶などがありました。環境が汚れ、いずれ自分や他の人に影響を与えるから自分でポイ捨てしないし、家の人にもしっかりと伝えようと思いました。
- ・思ったよりもゴミが多くてびっくりしました。特に袋の中にペットボトルとか空き缶とかが入っていたからすごくひどいと思いました。
- ・なんでポイ捨てしていない人がゴミを拾わないといけないのか。
- ・私はゴミが一つもなくてきれいで気持ちのいい大関にしたいです。etc.

コース毎のゴミの総量と種類別集計(過去5年間)

■令和3年 ■令和4年 ■令和5年 ■令和6年 ■令和7年

※調査コースに加え、坂井きらめき施設周辺のゴミ拾いも実施



コミセン前コース

コース別	空き缶	ペットボトル	たばこ	プラスチック類	紙類	その他	総量(kg)
コミセン前Aコース	2	2	25	48	9	46	0.9
コミセン前Bコース	5	3	13	46	31	111	1.7

【協力団体】大関小学校、大関小学校PTA、大関地区区長会、青少年育成坂井市民会議大関支部、大関ふくしの会、交通安全協会大関分会、おおぜき青空クラブ、県民せいきょう坂井きらめき、坂井市(市民協働課、環境推進課)、大関まちづくり協議会

第6回目の「ゴミ探検」は大関小学校と協力し、全児童で歩いて調査することができました。調査する道路もコミセン前の県道を追加して実施しましたが、25人も地域の皆さんがご協力くださり無事終わることができました。初めて参加する子どもたちからは「大関にこんなにたくさんゴミが落ちていることにびっくりした」という声が多く聞かれました。車で走っているときれいに見える道路も歩いて調査するとゴミの多さに毎回驚かされます。これまでの活動を活かして、ゴミ減量に繋がる取り組みも模索していきたいです。

